



第 1 回 ALSO-Japan 学術集会

プログラム

会 期：2015 年 9 月 26 日（土）

会 場：金沢都ホテル（石川県金沢市）

学術集会長：新井 隆成（恵寿総合病院）

第1回ALSO-Japan学術集会 スケジュール

A会場 【セミナーホール】	B会場 【飛翔の間（中）】	C会場 【飛翔の間（西）】	昼食会場 【鳳凰の間（7F）】
8：15 受付（～8：50）			
9：00～9：10 開会の辞			
9：10 シンポジウム 『助産師がALSOを受講する意味 ～助産師のALSO受講が実践をどう変えたのか～』 座長：白井 いづみ・高野 綾			
10：00			
10：15 演題発表BJ 『妊娠高血圧症候群（PIH）』 『分娩後大出血（PPH）』 A1-01～A1-10 座長：平田 修司・長田 久夫	10：15 演題発表VXd 『BLSO』 『災害時妊産婦支援』 B1-01～B1-10 座長：橋口 幹夫・池田 武史・伊達岡 要	10：15 演題発表KL 『死戦期帝王切開』 『チームSTEPPS』 C1-01～C1-10 座長：鈴木 真・種田 憲一郎・白井 いづみ	
12：05			
			12：20 昼食会 会場：鳳凰の間
13：30 演題発表Xr 『地域の取り組み』 A2-01～A2-07 座長：安日 一郎・加藤 一朗	13：30 演題発表Xe 『教育』 B2-01～B2-07 座長：平松 祐司・伊藤 雄二	13：30 演題発表DGHIN 『前期破水』 『骨盤位』 『補助経腔分娩』 『肩甲難産』 『会陰裂傷』 C2-01～C2-08 座長：吉本 英生・中山 理	13：30
14：50	14：50	15：00	
15：05 学術集会長講演 『ALSO をいかに臨床に生かすか ～これまで、そして今後の戦略～』 演者：新井 隆成			
15：35 特別講演 1 『地域包括ケアの本質を考える ～地域包括ケア政策の中で、産科プロバイダーが 知っておかなければ ならないこと～』 演者：神野 正博			
15：55			
16：00 特別講演 2 『エビデンスに基づいたチーム医療 -チームSTEPPS を活かす』 演者：種田 憲一郎			
16：20			
16：25 特別講演 3 『ALSO プロバイダーコースでよい 指導を行うために求められるもの』 演者：鈴木 真			
16：45			
16：50 特別講演 4 『日本プライマリ・ケア連合学会 新プロジェクト PCOG（Primary Care OB & GYN）の 今後の活動について』 演者：伊藤 雄二			
17：10			
	17：40 懇親会&表彰式 会場：飛翔の間（中・西） （金沢都ホテル 7F）		
	19：30		

I. シンポジウム・講演

A 会場 [B2 セミナーホール] 午前の部：シンポジウム

開会の辞	9:00 ～ 9:10
新井 隆成	恵寿総合病院 家族みんなの医療センター センター長

シンポジウム	9:10 ～ 10:00
助産師が ALSO を受講する意味 ～助産師の ALSO 受講が実践をどう変えたのか～	
座長：臼井 いづみ	千葉大学院看護学研究科 災害看護学 特任助教
高野 綾	宮城県立こども病院 産科病棟

演題名：助産師は ALSO をいかに臨床に生かすか？管理者の立場から

演者：日戸 千恵

所属：宮城県立こども病院 産科病棟 看護師長

演題名：ALSO の現場での活用と妊産婦への還元～スタッフの立場から

演者：青木 まり子

所属：順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科病棟 主任

演題名：「島のお産をみんなで守る」他職種間での意識の向上と今後の課題

演者：加藤 真紀子

所属：隠岐広域連合立隠岐病院／島根大学大学院医学系研究科 看護学専攻修士課程

A 会場 [B2 セミナーホール] 午後の部：講 演

学術集会長講演	15:05 ～ 15:30
ALSO をいかに臨床に生かすか ～これまで、そして今後の戦略～	
演者：新井 隆成 恵寿総合病院 家族みんなの医療センター センター長 NPO 法人 周生期医療支援機構 代表理事	
特別講演 1	15:35 ～ 15:55
地域包括ケアの本質を考える ～地域包括ケア政策の中で、産科プロバイダーが知っておかなければならないこと～	
演者：神野 正博 社会医療法人財団 董仙会 理事長 全日本病院協会 副会長	
特別講演 2	16:00 ～ 16:20
エビデンスに基づいたチーム医療-チーム STEPPS を活かす	
演者：種田 憲一郎 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 上席主任研究官	
特別講演 3	16:25 ～ 16:45
ALSO プロバイダーコースでよい指導を行うために求められるもの	
演者：鈴木 真 亀田総合病院 産婦人科/総合周産期母子医療センター センター長 ALSO-Japan 教育委員長	
特別講演 4	16:50 ～ 17:10
日本プライマリ・ケア連合学会 新プロジェクト PCOG (Primary Care OB & GYN) の今後の活動について	
演者：伊藤 雄二 地域医療振興協会 総合診療産婦人科養成センター センター長 日本プライマリ・ケア連合学会 PCOG プロジェクト代表	

II. 演題発表

A 会場 [B2 セミナーホール] 午前の部：演題発表

演題発表 BJ：『妊娠高血圧症候群（PIH）』『分娩後大出血（PPH）』

10:15 ～ 12:05

座長：平田 修司 山梨大学医学部附属病院 産婦人科

長田 久夫 千葉大学医学部附属病院 周産期母性科

A1-01 当院での重症 PIH の帝切を減らす試み ～妊娠 34 週以後の場合～

○柴田 貴司, 中後 聡, 小辻 文和

愛仁会 高槻病院 産婦人科

A1-02 当院における産科危機的出血への対応シミュレーションの有用性の検討

○宇津 裕章¹⁾, 鹿内 智史¹⁾, 浅野 拓也¹⁾, 水内 将人²⁾, 山下 剛¹⁾

1) 市立函館病院 産婦人科

2) 札幌医科大学産婦人科学講座

A1-03 ハイリスク分娩を扱う当院の「比較的」積極的な「分娩第 3 期の予防的介入

（AMTSL）」および分娩後出血のリスク因子に関する後方視的検討

○牧 尉太, 平岡 知浩, 鎌田 泰彦, 増山 寿, 平松 祐司

岡山大学大学院医歯薬総合研究科 産科・婦人科学教室

A1-04 分娩第 3 期にオキシトシンを使用して積極的に管理した場合の産後出血量の減少効果

○今村 正敏, 徐 恒傑, 太田 孝志

生駒市立病院 産婦人科

A1-05 分娩第 3 期の予防的オキシトシン投与標準化（RUPO）による分娩時異常出血予防効果

○菅 幸恵¹⁾, 安日 一郎¹⁾, 楠目 晃子²⁾, 杉見 創³⁾

1) 国立病院機構 長崎医療センター 産婦人科

2) 高知医療センター

3) 上五島病院

A1-06 当院における分娩第 3 期の積極的管理の効果

○末光 徳匡, 松浦 拓人, 鈴木 真

亀田総合病院 周産期母子医療センター

A1-07 当院で経験した分娩後大出血に対し他施設・他職種間で共通認識に基づいて治療した一例

○江口 武志¹⁾³⁾, 島津 有生子²⁾, 小塩 史子²⁾, 太田 加代²⁾, 水谷 靖司¹⁾

1) 姫路赤十字病院 産婦人科

2) 姫路赤十字病院 看護部

3) 岡山大学病院 周産母子センター

A1-08 分娩後大量出血に対する IABO の可能性

○東 晶子, 昆 祐理, 吉村 有矢, 今 明秀, 今井 紀昭

八戸市立市民病院 救命救急センター

A1-09 産褥搬送における分娩後大量出血症例 –産科麻酔科医の立場から–

○松田 祐典¹⁾, 加藤 梓¹⁾, 半田 裕子¹⁾²⁾, 長嶋 小百合¹⁾³⁾, 照井 克生¹⁾

1) 埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科

2) 新小山市民病院 麻酔科

3) 北里大学メディカルセンター 麻酔科

A1-10 当院における産科危機的出血プロトコルの作成

○渡辺 憲和, 堤 誠司, 小幡 美由紀, 川越 淳, 永瀬 智

山形大学医学部 産科婦人科学講座

B 会場 [飛翔の間 (中)] 午前の部：演題発表

演題発表 VXd：『BLSO』『災害時妊産婦支援』

10:15 ～ 12:05

座長：橋口 幹夫 沖縄県立中部病院 総合周産期母子医療センター
池田 武史 相澤病院 集中治療科
伊達岡 要 恵寿総合病院 家族みんなの医療センター

B1-01 BLSO インストラクターコースアンケート結果からの考察

○伊達岡 要¹⁾, 吉田 穂波²⁾, 内田 聖人³⁾, 日高 武英⁴⁾, 伊藤 雄二⁵⁾

1) 恵寿総合病院 家族みんなの医療センター

2) 国立保健医療科学院 生涯健康研究部

3) 羽咋郡広域圏事務組合消防本部

4) 邑智病院

5) 地域医療振興協会

B1-02 A市消防局における救急救命士のためのBLSO コース開催の有効性と今後の課題

○後藤 淳子

聖マリアンナ医科大学病院 総合周産期母子医療センター

B1-03 周産期救急のスキルと知識の定着について

○内田 聖人¹⁾, 伊達岡 要²⁾

1) 羽咋郡広域圏事務組合消防本部

2) 恵寿総合病院 家族みんなの医療センター

B1-04 BLSO を通して構築される地域周産期ネットワーク

○野中 涼子¹⁾, 谷口 光代²⁾, 新納 直久³⁾

1) NPO 法人親子ネットワークがじゅまるの家

2) 京都学園大学健康医療学部看護学科

3) 徳之島徳洲会病院

B1-05 離島における看護師・救急救命士らに BLSO がもたらしたもの

○加藤 一郎

島根大学医学部 産科婦人科

B1-06 院外分娩切迫患者に対する当院の取り組み

○門岡 みずほ, 鈴木 真

亀田メディカルセンター 産婦人科

B1-07 病院前救急診療を担う救急医に BLSO は必要か

○吉村 有矢¹⁾, 今 明秀¹⁾, 東 晶子¹⁾, 今井 紀昭²⁾, 伊藤 雄二³⁾

1) 八戸市立市民病院 救命救急センター

2) 八戸市立市民病院 産婦人科,

3) 地域医療振興協会 西吾妻福祉病院 産婦人科

B1-08 災害時妊産婦救護による組織横断的ネットワークの可能性

○吉田 穂波¹⁾, 新井 隆成²⁾

1) 国立保健医療科学院 生涯健康研究部

2) 恵寿総合病院 家族みんなの医療センター

B1-09 災害時の妊産婦支援 ～最初の問題点～

○渡邊 直子

山梨赤十字病院 産婦人科

B1-10 災害の時にもお産を守るために ―それから―

○菅原 準一

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

C 会場 [飛翔の間 (西)] 午前の部：演題発表

演題発表 KL：『死戦期帝王切開』『チーム STEPPS』

10:15 ～ 12:05

座長：鈴木 真 亀田総合病院 周産期母子医療センター
種田憲一郎 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部
臼井いづみ 千葉大学大学院 看護学研究科

C1-01 最重症妊婦の管理と ALSO との位置付け（死戦期帝王切開を中心に）

○吉富 智幸
福岡赤十字病院

C1-02 当院で経験した死戦期帝王切開2例についての考察

○荻田 和秀
りんくう総合医療センター

C1-03 母体脳出血による心肺停止に対し、心肺蘇生後に帝王切開で生児を得た1例

○中村 学, 智多 昌哉, 阿部 由佳, 川合 貴幸, 高橋 泰洋
さいたま赤十字病院

C1-04 職種連携を再確認する契機となった死戦期帝王切開の一例

○中山 理, 三島 隆, 堀内 美奈, 青島 友香, 林 美恵子
聖隷浜松病院

C1-05 当院における死戦期帝王切開術プロトコール作成

○大畑 尚子¹⁾, 諸井 明仁²⁾, 橋口 幹夫¹⁾
1) 沖縄県立中部病院 総合周産期母子医療センター
2) 沖縄県立宮古病院 産婦人科

C1-06 当院における超緊急帝王切開（Grade A）の現状と ALSO の活用

○松川 泰¹⁾, 森 亮介¹⁾, 田中 幸子²⁾, 尾崎 康彦¹⁾, 杉浦 真弓¹⁾
1) 名古屋市立大学 産科婦人科
2) 名古屋市立大学 総合周産期母子医療センター

- C1-07 助産師主導型の周産期救急シミュレーション訓練の実際 ～離島においても安心・安全の産科医療を提供するために～
○藤山 レイ, 世門 奈穂美, 小田切 志穂, 金丸 友美, 川畑 保美, 小田切 幸平
名瀬徳洲会病院 産婦人科病棟
- C1-08 大規模産科一次施設における ALSO プロバイダーコース参加者を中心とした産科急変対応に関する院内学習の取り組み
○村上 真紀¹⁾, 江口 葉月²⁾, 草間 志津枝²⁾, 椎谷 由実²⁾, 上里 忠司²⁾
1) 医療法人愛和会愛和病院 産婦人科
2) 同 分娩室 2
- C1-09 DR C BRAVADO をいかに日々の診療に活かすか～メンタルモデル共有の観点から～
○小田切 幸平, 藤山 レイ, 小田切 志穂, 川畑 保美, 世門 奈穂美
名瀬徳洲会病院 産婦人科
- C1-10 当院において“DR C BRAVADO”に評価記載を統一した効果について
○宮坂 麻由子, 安田 豊, 宮田 康一, 吉岡 哲也, 新井 隆成
恵寿総合病院 家族みんなの医療センター

A 会場 [地下2階 セミナーホール] 午後の部：演題発表

演題発表 Xr：『地域の取り組み』

13:30 ～ 14:50

座長：安日 一郎 国立病院機構長崎医療センター 産婦人科
加藤 一郎 島根大学医学部産科婦人科

A2-01 東北地区における ALSO 活動について

○佐藤 尚明¹⁾, 菅原 準一¹⁾, 真田 広行²⁾, 堤 誠司³⁾

1) 東北大学 産婦人科

2) 秋田赤十字病院 産婦人科

3) 山形大学 産婦人科

A2-02 都道府県の周産期医療整備計画における BLSO/ALSO の位置づけ

○石川 浩史

神奈川県立こども医療センター

A2-03 離島、種子島地区の周産期医療の8年間の取り組み

○高山 千史

社会医療法人 義順顕彰会 田上病院

A2-04 静岡家庭医養成プログラムにおける ALSO の意義

○鳴本 敬一郎

浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座

A2-05 恵寿総合病院での家庭医による産科診療の経験と ALSO

○吉岡 哲也, 宮坂 麻由子, 伊達岡 要, 安田 豊, 新井 隆成

恵寿総合病院 家族みんなの医療センター

A2-06 北海道十勝地方における ALSO 実施後の医療者間コミュニケーションスキル向上についての後方視的多施設検討

○阿部 秀悦¹⁾, 黒田 敬史¹⁾, 真里谷 奨¹⁾, 新開 翔太²⁾, 藤部 佑哉²⁾

1) 北海道社会事業協会帯広病院 産婦人科

2) 札幌医科大学産婦人科学講座

A2-07 離島における助産師に ALSO がもたらしたものの

○加藤 一郎

島根大学医学部産科婦人科

B 会場 [飛翔の間 (中)] 午後の部：演題発表

演題発表 Xe：『教育』

13:30 ～ 14:50

座長：平松 祐司 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 産科・婦人科学教室
伊藤 雄二 地域医療振興協会 総合診療産婦人科養成センター

B2-01 名古屋市立大学病院及び関連病院初期臨床研修プログラムへの ALSO の導入の試み

○尾崎 康彦, 森 亮介, 松川 泰, 片野 衣江, 杉浦 真弓
名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学

B2-02 受講生アンケートから考察した ALSO プロバイダーコースの産科臨床への役割

○小澤 克典¹⁾, 菊地 範彦²⁾, 谷垣 伸治²⁾, 左合 治彦¹⁾²⁾

1) 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 胎児診療科

2) 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 産科

B2-03 学生に対する ALSO 勉強会への反転授業の導入の試み

○深澤 宏子, 平田 修司

山梨大学医学部附属病院 産婦人科

B2-04 医学生に対する ALSO 教育の効果

○長田 久夫

千葉大学医学部附属病院 周産期母性科

B2-05 ALSOにおける妊婦心肺蘇生シミュレーションを産婦人科リクルートに導入した当教室の試みー第1報ー

○宇津 裕章, 黒田 敬史, 真里谷 奨, 水内 将人, 斉藤 豪

札幌医科大学 産婦人科学講座

B2-06 ALSO 受講産婦人科医師のキャリアの違いによる関心領域の検討

○桐野 智江¹⁾, 牧 尉太²⁾, 鎌田 泰彦²⁾, 増山 寿²⁾, 平松 祐司²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 産婦人科

2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産科・婦人科学教室

B2-07 連携の大切さと難しさ～分娩見学を拒否された救急看護師と新生児蘇生に参加できた ICU 看護師～

○淀川 祐紀²⁾, 平賀 恵¹⁾, 小田切 幸平³⁾, 小田切 志穂³⁾, 四位 友樹³⁾

1) 国際医療福祉大学看護学科

2) 岩手県立中部病院

3) 名瀬徳洲会病院

C 会場 [飛翔の間 (西)] 午後の部：演題発表

演題発表 DGHIN：『前期破水』『骨盤位』『補助経膈分娩』『肩甲難産』
『会陰裂傷』 13:30 ～ 14:50

座長：吉本英生 富山県済生会高岡病院 産婦人科
中山 理 聖隷浜松病院

C2-01 前期破水時における帝王切開の感染対策～新しい腹膜外帝王切開法の開発～

○中後 聡, 柴田 貴司, 加藤 大樹, 大石 哲也, 小辻 文和

愛仁会高槻病院 産婦人科

C2-02 骨盤位症例の考察 ～当院での対応と横 8 の字について～

○齋藤 美貴, 橋本 吏可子

津軽保健生活協同組合 健生病院

C2-03 経験年数 3 ヶ月の産婦人科専攻医 1 年目が ALSO プロバイダーコースでのシミュレーション経験を活かし、初めての骨盤位経膈分娩介助を成功させた一例

○森 亮介, 尾崎 康彦, 片野 衣江, 早川 博生, ※杉浦 真弓

名古屋市立大学病院産婦人科, ※春日井市民病院産婦人科

C2-04 当院における外回転術の工夫 ～初回帝王切開率減少を目指して～

○島岡 享生, 望月 純子, 服部 響子, 河野 照子, 海野 信也

北里大学周産母子成育医療センター

C2-05 補助経膈分娩における ALSO コースでの指導方法は妥当か？～児の予後と母児合併症の検討から～

○青山 和史, 南川 浩彦, 有澤 奈良, 吉澤 徹

諏訪中央病院

C2-06 福岡赤十字病院会陰縫合実習模型・エインシュタインちゃんその後～特許断念・タンザニアからの要請・世界普及へ～

○淀川 祐紀¹⁾、大橋 まどか²⁾、長田 久夫³⁾

1) 船橋中央病院周産期科・麻酔科

2) Mwananyamala Hospital, Dar Es Salaam TANZANIA

3) 千葉大学附属病院周産期母性科

C2-07 会陰保護は必要か

○今村 正敏、太田 孝志、徐 恒傑

生駒市立病院 産婦人科

C2-08 ALSO とは、、、肩甲難産のためにあるといっても過言ではない！

○吉富 智幸

福岡赤十字病院